

川越市新宿町一丁目広場 指定管理者の選定結果について

川越市都市計画部公園整備課

1 指定管理者

東急グリーンシステム株式会社

代表取締役 田中 徹夫

2 指定期間

令和8年7月4日から令和13年3月31日まで（4年9箇月間）

3 応募者（3者）

A者 東急グリーンシステム株式会社

B者

C者

4 評価点

申請者名	A者	B者	C者
得点	259.5点	240点	191.5点

5 東急グリーンシステム株式会社の提案の概要

(1) 管理運営の基本方針

県南西部地域の中心拠点がもつ人流ポテンシャルに対して、3つの切り口で、それぞれの利用シーンに合わせ、平日と休日及び終日を通じた、新たな広場の楽しみ方を提供し、川越駅西口地域の活力を高める広場を実現

<3つのコンセプト>

- I.川越駅西口を行き来する周辺住民が集まり、広場の日常の賑わいを創出
- II.周辺地域との連携による、県南西部住民を呼び込む休日のアトラクション会場
- III.市民のやりたいことを実現し、新たな広場の利用者獲得

(2) 適切かつ安定した管理運営の確保

○個人情報保護と業務上知り得た秘密の保護

- ・コンプライアンス研修の実施 ・マニュアルに基づくセキュリティ対策の実施

○行政手続条例等関係法令の遵守

- ・公正の確保、手続きの透明性向上を図る ・公平な受付の実施

○情報公開

- ・文書管理規定及び情報公開規定の策定 ・請求があった場合は市に報告

○職員配置

- ・開場時間中 1 名以上を配置（施設長 1 名含む。シフトにより対応）
- ・施設長をはじめとしたスタッフは川越市内在住の市民を積極的に雇用

○雇用及び労働条件

- ・労働諸法の遵守 ・就業規則の策定 ・市内業者への優先発注
- ・福祉施設の授産品調達

○市との連絡調整に関する体制

- ・市への定期報告 ・セルフモニタリングの実施（日報作成、課題の検証・改善）

○危機管理

- ・関連機関との連絡体制整備 ・傷病人の応急措置の実施 ・防災訓練の実施
- ・避難場所としての開放 ・賠償責任保険加入

(3) 業務の実施内容と方法

○管理経費削減方法

- ・現地での非常勤職員の採用 ・自動芝刈機等導入による園地作業工数削減
- ・園地スタッフのスキル活用による外部委託費の抑制
- ・自主事業収益の 50%の金額を還元し指定管理料を低減

○職員研修及び育成

- ・目標設定による業務明確化 ・任用時及び配属後定期の研修実施
- ・資格取得の奨励

○維持管理業務の実施

- ・植栽管理方針：長年の芝の管理、研究により培ったスキルを最大限に活用し、芝生の利用と美観を両立する最適な管理を実施。自動芝刈機導入で作業工数削減。
- ・保安警備方針：開園時間内はスタッフが定期巡回。機械警備システムと防犯カメラの導入。
- ・保守点検方針：年間管理計画と市の方針に従い、確実な点検を実施

○運營業務の実施

- ・行為許可：ルールの明示、台帳記録による不正優遇防止、複数の申込機会確保
- ・広報業務：周辺地域を行き交う人々の行動範囲に合わせて様々な媒体を活用
- ・憩い空間創出：利用者のニーズに合わせて、時間帯毎に様々なサービスを提供
- ・「広場を育てる会」の設立：近隣住民から参加者を募集。広場運営についての意見や課題を聴取

○利用者サービスの向上

- ・苦情対応：接遇研修、対応方針マニュアル作成
- ・利用者ニーズの把握：利用者アンケートの実施、分析・反映、結果の公表
- ・住民との交流・連携：「広場を育てる会」、早朝ラジオ体操、園内管理ボランティア等

○防災イベントの実施

多数の防災イベント実施経験を活かし、2つのイベントで防災への理解促進と啓発を行う

①防災体験イベント

- ・災害の「怖さ」や「発生時の状況」をリアルに体験し、具体的な行動を学ぶ

②防災デイキャンプ

- ・災害発生後の行動や避難所での生活を体験し、事前に必要な準備や共助の重要性を学ぶ

(4) 自主事業

3つのコンセプトに基づく取組みの実施

①川越駅西口を行き来する周辺住民が集まり、広場の日常の賑わいを創出

- ・時間帯ごとの利用者を想定したサービス提供

朝：わくわくキッズランド（親子の遊び場、親・保育士のおしゃべりサロン等）

昼：ひるテラス（日替わりキッチンカーのある昼食空間）

夕：チルラウンジ（軽食、スイーツ等のキッチンカーのある放課後の休憩場所）

夜：ムーンテラス（日替わりの夜のキッチンカーメニューのある夕食空間）

②周辺地域との連携による県南西部住民を呼び込む、休日のアトラクション会場

- ・Well-being に繋がる各種サービスの提供

（ファミリースポーツフェスタ、キッチンカーフェス等）

- ・地域団体のイベント誘致（イベント誘致支援として備品貸出サービス等の取組み）

③市民のやりたいことを実現し、新たな広場の利用者獲得(パークコネクト)

- ・広場を活用したい人(NPO 団体等)と、支援する人(企業・公共等)を募り、活動をマッチング

(5) 指定管理料

○提案額

- ・全期間合計：86,448,000円（市が設定した上限額に対する79.9%）

○剰余金に関する提案

- ・自主事業収益の50%の金額を還元

6 指定管理者選定の主なポイント

- ・「広場を育てる会」の設立・運営についての提案があり、利用者や地域住民の声を積極的に取り入れて運営に反映させようとする姿勢が見られる。同取組により、ボランティア活動などの協力を得て経費削減につながることや、市・指定管理者・地域の一体感が生まれることも期待される。
- ・自主事業について、本市にこれまでになかった新たな公園の活用方法が類似の実績を基に具体的に提案されており、指定管理者に求めるにぎわい創出の部分でのスキル・ノウハウの発揮が期待できる。また利用者のニーズに合わせて、1日の時間帯に応じた様々なサービスを提供する方針となっており、施設の目的である憩いの場や交流拠点の実現が期待できる。
- ・管理経費の縮減や自主事業等による市への還元により、市の財政負担の軽減につながる提案となっている。
- ・経営状況について、2期連続で増収・増益となっており、特に直近期の営業利益は大きく増加していることから、安定した経営状況かつ十分な資力があると考えられる。また、自己資本比率が高い水準となっており、健全な状態にある。
- ・閉鎖時間内の緊急事態発生について、迅速な対応の方針が示されており、また避難場所としての役割について、積極的な市への協力の姿勢が見える。